

## 1. 評価結果概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

## 【評価実施概要】

事業所番号	4571700519
法人名	有限会社 とまり商事
事業所名	グループホームはればれ
所在地	宮崎県北諸県郡三股町稗田46-13 (電話) 0986-52-2267
評価機関名	宮崎県医師会サービス評価事務局
所在地	宮崎市和知川原1丁目101
訪問調査日	平成22年1月22日

## 【情報提供票より】(21年10月31日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成17年7月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18人
職員数	16人	常勤 16人, 非常勤 人, 常勤換算	5人

## (2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	1階建ての	1階 ~	1階部分

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,500 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	300 円	昼食 300 円
	夕食	400 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

## (4) 利用者の概要(10月31日現在)

利用者人数	18名	男性 0名	女性 18名
要介護1	1名	要介護2	4名
要介護3	9名	要介護4	3名
要介護5	1名	要支援2	0名
年齢	平均 86.5歳	最低 80歳	最高 96歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	とまり内科外科胃腸科医院、わかば歯科
---------	--------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

幹線道路から少し入った住宅地の中にホームはあり、近隣の住宅に溶け込んだ、普通の家をイメージする落ち着いた雰囲気のあるホームである。ホーム内には職員手作りの飾り付けが季節感を大事に装飾され幼稚でなく、暖かい雰囲気をかもしだしていた。医療法人が母体であり協力医療機関は、歩いて2~3分程度の場所に位置しているため医療との連携も取りやすい環境である。2棟のホームの共用の中庭は広く菜園や桜の木が植えられ、屋外活動も十分に楽しめるようになっている。

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	理念は見直しがされており、地域密着型としての理念となっていた。地域との交流については、公民館を通して便り(はればれ通信)を発信しており、近所の方が回覧板を届けたついでに野菜を持ってきてくれるなど地域との良好な関係が作られている。食事を一緒に楽しむ取り組みについては、工夫を重ねながら、課題として今後も取り組みを続けてほしい。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者が職員全員に自己評価及び外部評価について説明し、自己評価は職員全員で協力し作成をした。作成に当たり反省点を話し合い改善に取り組まれている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は定期的開催されており、地域代表、行政職員、家族の方が参加されている。随時、必要時に消防署(消防団)、警察署(交番)、他事業所のケースワーカーの参加もみられている。活動内容の報告や検討事項などについて、参加者からの意見もみられ、活動内容やケアの向上に役立っている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族の来訪時に要望や希望などを聞き、申送りノートに細かく記載され、それに対する対応も同ノートに記載、適切に実践されている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会に加入し行事や地区清掃への参加を行っている。また地区の祭りに利用者の作品を出展するなどの参加を行っている。地域住民へは公民館を通して、便り(はればれ通信)を月に1回、回覧してもらっており、地域の方々の理解を深めている。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念は前回評価から見直しがされており、地域密着型として地域との交流・連携が謳われ、理念に基づいた取組みがなされている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	週1回の職員ミーティングで理念を唱和し、理念を意識し業務に活かそうと努力をしている。またケア業務時、随時、管理者から職員に理念を意識した指導、指示があり、理念の実践に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し、地区の行事に利用者が作品を出品したり、清掃行事には職員が参加したりして地域住民と交流を持っている。また、公民館を通じて「はればれ通信」を毎月回覧してもらっており、地域との関係構築に積極的に取り組んでいる。ボランティアも定期的に来訪し三味線の披露を行っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者が自己評価及び外部評価について職員に説明し、全職員で自己評価を行った。自己評価の中で出てきた問題点は職員で検討し改善に取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行政職員、公民館長、民生委員、家族代表の参加があり2か月に1回定期的に開催している。時には消防署(消防団)、警察署(交番)、他事業所のケースワーカーの参加もある。活動内容の報告や検討事項などについて、参加者からの意見も活発にみられ、活動内容やケアの向上に役立っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	毎月、状況報告を市町村に提出している。また事故発生の時にも事故報告書を提出し、改善策など市町村と連携しサービスの向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の来訪時に利用者の健康状態や暮らしぶりを報告している。ホームで金銭管理をしている利用者については家族に出納帳を提示し、認めをもらうなどきちんとした管理が行われていた。また職員の異動時も家族へ報告をしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置しており、家族の来訪時や遠方の家族には電話にて希望、要望を引き出すよう努力している。実際に要望があった場合は、ノートに要望、それに対する対応が細かく記載されており、全職員が把握し、実践が出来るよう取組みがなされている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ユニット間での職員の異動があるが、業務上行き来をするためユニットが変わっても利用者との関係維持が図れている。利用者のダメージもほとんどみられない。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員全員が外部研修へは積極的に参加しており、復命研修を内部研修として月1回のミーティング時に行っている。研修内容を職員全員で共有しケアの質の向上に取り組んでいる。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会に参加している。他のホームの方が見学に訪れたりと交流を図っている。また管理者は他のホームの管理者と連絡を密にし、相談や助言も行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して納得した上で利用となるように、入院中、1日2時間程度来られ、他の利用者と一緒に色塗りや塗り絵をされたりと、一緒に過ごす機会を何度もつくり、入居となった利用者もおり、馴染みながらのサービス利用に取り組んでいた。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	料理の作り方や菜園での野菜作りなど、利用者から教えられることが多い。また季節の意味など利用者から知らない知識を教えてもらうなど共に支えあう関係を築いている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式のアセスメントを家族の協力の下、作成活用したり、会話の中で把握できた利用者の意向、思いを細かく把握しケアに取り組んでいる。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	センター方式のアセスメントを担当職員が、本人の意向、思い、家族の意見などを参考にして作成し、全職員で内容の検討・意見を出し合いながら情報の共有を行い、介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	モニタリングは毎月行っている。状態の変化や支援内容の変化があった場合は、随時、介護計画の見直しを行っている。	○	状態の変化の無い利用者の方でも毎月のモニタリングを活かして、支援方法や具体的なケアの工夫など介護計画に反映させて見直しに活かしてほしい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院は家族対応が困難な場合など職員が付き添い介助支援を行っている。外出・外泊も届ければ自由に行うことができる。近接のデイケアで行事があれば参加するなど柔軟な支援を行っている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ほぼすべての利用者のかかりつけ医はホームの協力医療機関となっており、ホームから徒歩2～3分程度の近接地に医療機関があるので、連絡も密に取れ良好な関係構築が出来ている。往診も定期的に行われ安心できる体制になっている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期の指針を作成し、家族へ説明・同意を得て訪問看護の活用など実践を行っている。常時医療が必要な利用者はかかりつけ医へ受診・入院となっていた。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	重要なプライバシーに関わる書類は事務所で管理されており、事務所も人がいない時は鍵をかけるなど個人情報保護の徹底に取り組んでいる。理念にある「尊重」を実践し声かけもやさしく、丁寧であった。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床時間や食事時間など、利用者の要望でずらしたりと本人のペースに出来る限り合わせるよう取り組まれている。意思疎通困難な利用者については、行動を把握し、その行動が何を意味するのか職員で検討し、ケアの質の向上に努力している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の好みをメニューに取り入れ工夫している。以前、利用者の状態が良かった時には準備や片付けも一緒に出来ていたが、今は手伝える利用者が少ない。昼食については職員は自前で利用者と一緒に食事をしている。	○	利用者と職員と一緒に食事をされているが、出来れば利用者と同じ食事をその雰囲気と共に一緒に楽しんでほしい。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日や時間帯は決まっているが、その日の利用者本人の状態、意向により無理はせず翌日に入浴するなど柔軟に対応している。どうしても入浴拒否のある利用者は清拭や足浴ケアを行い清潔の保持に努めている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの役割や楽しみごとを把握し、化粧が習慣だった利用者への支援や力を活かした菜園作りの支援などに取り組んでいる。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	以前、利用者の状態が良かった頃には利用者の意向で近くのショッピングセンターへ買物に行ったりしていた。また希望や体調をみて中庭散策や散歩を行っている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	離設も以前にあったが門扉、玄関に鍵は掛けておらず、鍵を掛けることの弊害を職員全員が理解をしている。門扉にセンサーを取り付け離設への対応も図られている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回避難訓練や消火通報訓練を行っている。防災マニュアルも整備し、職員が周知をしていた。自治会や近隣へは「はればれ通信」でお知らせし、参加のお願いもしているが近所の方の参加は今のところまだない。運営推進会議に消防署(消防団)の方を招き、防災意識の向上にも努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの嗜好表を作成し好き嫌いやアレルギーの有無を把握している。献立はホームでたてるが協力医療機関の栄養士の意見も参考にして作成している。センター方式の中で食事摂取量、水分量、体重の把握をきちんとされている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	気になる匂いもなく、南に面した居室や広い居間には畳もあり、採光も良く季節感を取り入れた職員手作りの飾りつけなど丁寧な配慮が感じられ、落ち着いた雰囲気醸し出されていた。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は日当たりがよく馴染みの仏壇やテレビ、ソファなどが持ち込まれており、壁には家族の写真や季節の飾付けがされ居心地よく過ごせる取組みをしている。		